

**令和6年度
決算報告書**

取手市

目 次

一般会計

歳入の状況	13
歳出の状況	23
1 議会費	23
2 総務費	25
3 民生費	66
4 衛生費	118
5 農林水産業費	146
6 商工費	151
7 土木費	162
8 消防費	182
9 教育費	187
10 災害復旧費	234
11 公債費	235
13 予備費	236

特別会計

取手駅西口都市整備事業特別会計	239
国民健康保険事業特別会計	249
後期高齢者医療特別会計	263
介護保険特別会計	269
競輪事業特別会計	299
取手地方公平委員会特別会計	305

参考資料	307
------	-----

※ 事業別説明中の担当課協のページ表記は、令和 6 年度取手市決算書の当該事業掲載ページを示す。

※ 事業別説明中の（ ）内の金額は、取手市令和 5 年度決算額を表記

※ 事業別説明中の〈 〉内の金額は、取手市令和 6 年度決算額のうち前年度からの繰越額を表記

* 主要事業の特定財源は下記の凡例により名称を省略

分担金	: 分担金	財産収入	: 財産運用収入、財産売払収入
負担金	: 負担金	寄附金	: 寄附金
使用料	: 使用料	繰入金	: 特別会計繰入金、基金繰入金
手数料	: 手数料	繰越金	: 繰越金
国 負	: 国庫負担金	諸収入	: 延滞金・加算金及び過料
国 補	: 国庫補助金		: 市預金利子、貸付金元利収入
国 委	: 国庫委託金		: 受託事業収入、収益事業収入
県 負	: 県負担金		: 雑入
県 補	: 県補助金	市 債	: 地方債
県 委	: 県委託金		

令和 6 年 度 決 算 報 告 書

地方自治法第 2 3 3 条第 5 項の規定に基づき、令和 6 年度における主要な施策の成果を次のとおり報告します。

令和 7 年 9 月

取手市長 中 村 修

財 政 状 況

第1 国の予算

令和6年度の日本経済は緩やかな回復を続けており、国においては長きにわたったコストカット型経済から脱却し、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」への移行を確実なものとするための分岐点にあるとされていた。

一方、国の財政は、令和5年度決算では公債依存度が27.4%にも及び、国・地方を合わせた長期債務残高が令和5年度末においてGDP比212%になる等、主要先進国中最悪の水準と言わざるを得ない、極めて深刻な状況が続いている。

このような状況下、令和6年度予算については、施策・制度の抜本的見直しや各経費間の優先順位の厳しい選択を行うことにより、真に必要なニーズに応えるための精査を行い、次世代型行政サービスへの改革の実現に向けて、質・効率の高い行財政改革を徹底するものとして予算編成が行われた。

この方針に基づいて編成された令和6年度の一般会計当初予算の規模は、1兆1,257億円で、令和5年度当初予算に対して1兆8,095億円（1.6%）の減となった。

第2 地方財政対策

令和6年度通常収支分について、極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢等を踏まえ、歳出面においては、こども・子育て政策の強化等に必要な経費を計上するとともに、地方公共団体が住民のニーズに的確に応えつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、社会保障関係費や賃上げ等を踏まえた人件費の増加を適切に反映した計上等を行う一方、国の取組と基調を合わせた歳出改革を行うこととした。

歳入面においては、交付団体を始め地方の安定的な財政運営に必要な地方の一般財源総額について、令和5年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として、引き続き生じることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補填措置を講じることとした。

このような方針に沿った地方財政の通常収支分の規模は9兆3,388億円で、令和5年度に対して1兆6,038億円（1.7%）の増となった。

第3 市の予算編成等

令和6年度予算の編成に当たっては、新たに策定した「とりで未来創造プラン2024」の初年度に当たることから、本計画に描いた未来の取手に向かう飛躍の年とするため、快適で利便性の高い都市空間づくり、魅力の創造と発信、未来をつくる世代を育むまちづくり、健康でいきいきとした社会の実現、安全安心なまちと未来を見据えた環境整備、持続可能な地域社会の構築の6つを重点項目とし、市民生活を守る施策に取り組むとともに、取手市が将来にわたって発展していけるようブランディングを強化することを、基本的な方針として定めた。

1つ目は、取手駅北土地区画整理事業について、基盤整備と合わせて土地利用の高度化を図ることで、駅前の活力創出に繋げていく。また、桑原地区については、土地区画整理事業の早期事業化を目指し、大規模な商業・業務施設を核とした活力創造拠点を整備し、生活環境の向上や、雇用創出に繋げていく。

2つ目は、本市を住まいとして選んでいただけるよう、内外におけるブランディングを強化するとともに、市民にも取手の魅力を再発見してもらえよう、シティプロモーションを展開する。また、産業の活性化による地場産業の発展や、「アートのみち」としてのイメージアップ等を図る。

3つ目は、未来を担う世代のために、結婚から妊娠、出産、子育てといった、あらゆるステージにおいて、子育て世帯への切れ目ない支援を展開する。教育面においては、児童生徒一人一人にきめ細やかで質の高い教育を提供するための環境を整備し、こどもたちの多様な個性を尊重できる教育を提供していく。

4つ目は、市民の健康増進のため、ぬくもりある医療・福祉を安定的に提供するとともに、日常生活の中で体を動かすきっかけをつくることで、市民全体のウェルビーイングに繋げていく。また、生涯にわたる学びの機会を提供し、市民の生きがいを創出することで、市民の地域との関わりや地域コミュニティの活性化に繋げる。

5つ目は、安心して暮らせるまちを提供していくため、激甚、頻発化する自然災害の被害を未然に防ぎ、または軽減できるよう、排水施設等のインフラ面の整備を図ることで、市民の安心を確保していく。また、カーボンニュートラル社会に向けた取り組みを展開し、環境保全、地球温暖化対策を進める。

6つ目は、将来にわたり持続可能な行政運営ができるよう、様々な角度から歳入の確保を進める。また、デジタル技術を活用し、市民の利便性の向上と、庁内事務の効率化を図り、きめ細やかな行政サービスを展開する。

この方針に基づいて編成された令和6年度一般会計当初予算の規模は、428億4,000万円で、令和5年度当初予算に対して19億3,000万円（4.7%）の増となった。増の要因は、ふるさと取手応援寄附金の大幅な増加に伴い、ふるさと取手応援寄附金推進事業の事業費が増となったこと等による。

第4 決算の状況等

一般会計の決算状況は、歳入予算額534億6,190万1千円に対し、決算額は487億8,504万7千円で、予算額に対する決算額の比率は91.25%となった。

歳出においては、予算額534億6,190万1千円に対し、決算額は470億9,731万1千円で、88.1%となった。

全ての会計を合計した決算状況は、歳入予算額822億3,909万9千円に対し、決算額は774億3,114万4千円で、予算額に対する決算額の比率は94.15%となった。

歳出においては、予算額822億3,909万9千円に対し、決算額は748億1,302万2千円で、90.97%となった。

令和6年度取手市会計別決算総括表

(単位：円、%)

会 計 別	区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額との比較	予算額に対する 決算額との比率
一 般 会 計	歳 入	53,461,901,000	48,785,047,011	-4,676,853,989	91.25
	歳 出	53,461,901,000	47,097,310,879	-6,364,590,121	88.10
	歳入歳出差引額	—	1,687,736,132	繰越明許費繰越額及び 事故繰越し繰越額	218,687,000
				翌年度繰越金	1,469,049,132
取手駅西口都市整備事業 特 別 会 計	歳 入	1,538,953,000	1,429,071,600	-109,881,400	92.86
	歳 出	1,538,953,000	1,410,129,010	-128,823,990	91.63
	歳入歳出差引額	—	18,942,590	繰越明許費繰越額	11,618,000
				翌年度繰越金	7,324,590
国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計	歳 入	11,246,266,000	11,281,634,230	35,368,230	100.31
	歳 出	11,246,266,000	10,720,673,365	-525,592,635	95.33
	歳入歳出差引額	—	560,960,865	翌年度繰越金	560,960,865
後期高齢者医療特別会計	歳 入	3,985,597,000	3,912,971,081	-72,625,919	98.18
	歳 出	3,985,597,000	3,887,938,814	-97,658,186	97.55
	歳入歳出差引額	—	25,032,267	翌年度繰越金	25,032,267
介 護 保 険 特 別 会 計	歳 入	9,612,917,000	9,628,004,566	15,087,566	100.16
	歳 出	9,612,917,000	9,365,830,969	-247,086,031	97.43
	歳入歳出差引額	—	262,173,597	翌年度繰越金	262,173,597
競 輪 事 業 特 別 会 計	歳 入	2,392,775,000	2,393,646,260	871,260	100.04
	歳 出	2,392,775,000	2,330,722,507	-62,052,493	97.41
	歳入歳出差引額	—	62,923,753	翌年度繰越金	62,923,753
取手地方公平委員会 特 別 会 計	歳 入	690,000	768,947	78,947	111.44
	歳 出	690,000	416,689	-273,311	60.39
	歳入歳出差引額	—	352,258	翌年度繰越金	352,258
合 計	歳 入	82,239,099,000	77,431,143,695	-4,807,955,305	94.15
	歳 出	82,239,099,000	74,813,022,233	-7,426,076,767	90.97
	歳入歳出差引額	—	2,618,121,462		

決 算 の 概 要

1 予算の状況

当初予算

令和6年度の一般会計の当初予算は、歳入歳出ともに、428億4,000万円で、令和5年度当初予算に対して19億3,000万円（4.7%）の増となった。増の要因は、ふるさと取手応援寄附金の大幅な増加に伴い、ふるさと取手応援寄附金推進事業が増となったこと等による。

特別会計は6会計で、当初予算額は、268億3,832万5千円となり、令和5年度の265億2,395万7千円に比較し、3億1,436万8千円（1.2%）の増となった。

補正予算

一般会計において12回の補正予算を組み、合計で74億4,987万4千円の増額補正を行い、繰越事業費繰越財源充当額31億7,202万7千円を加えた最終予算現額は、534億6,190万1千円となった。これを令和5年度の最終予算現額と比較すると、22億8,912万3千円（4.5%）の増となった。

また、特別会計における補正予算は、5特別会計で16億8,075万8千円を増額補正し、繰越事業費繰越財源充当額2億5,811万5千円を加えた最終予算現額は、287億7,719万8千円となり、前年度比9億2,812万2千円（3.3%）の増となった。

2 決算の状況

一般会計

令和6年度は、快適で利便性の高い都市空間づくりとして、取手駅北土地区画整理事業において、土地利用の高度化と利便性向上を図るため、取手駅西口地区の宅地造成や、交通結節点となる交通広場及び主要な道路交通網の整備を行った。また、桑原地区の整備については、土地区画整理事業の早期事業化に向けて、関係機関との協議、準備組合に対する支援を行った。

魅力の創造と発信については、シティプロモーションサイトのリニューアルや、とりで利根川大花火の打ち上げ数増発によるにぎわいの創出等により、市のイメージアップや移住先候補地としての上位化に取り組みつつ、良質な新築住宅の取得や中古住宅のリノベーションに対する補助等を実施し、特に子育て世帯の定住化を促進した。また、新婚世帯を対象として新生活にかかる経済的な支援を行い、結婚の機運の醸成や新婚世帯の移住・定住につなげた。

未来をつくる世代を育むまちづくりについては、市が掲げるこどもまんなか社会の実現に向けた総合的な指針となる「取手市こども計画」の策定や、妊産婦・乳幼児等の母親の健康増進に資する妊産婦・子育て女性の健康づくり事業等により、さらなる子育て環境の充実を図った。また、教育においては市内全小中学校をコミュニティ・スクールとし、地域と学校が一体となってこどもを育む環境を整備したほか、物価高騰の影響による保護者の負担増を防ぐため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施した給食費負担軽減事業や、市内各校へ彫刻刀等教材の整備等、負担軽減策を多角的に展開した。さらに、白山小学校において

長寿命化改良事業を継続して実施するとともに、人口増に伴い児童数の増加が著しい高井小学校においては校舎増築工事を進め、児童生徒の安全かつ快適な学習環境の充実に向けた取組を推進した。

健康でいきいきとした社会の実現では、障害者等の重度化・高齢化が進む社会情勢を見据え、今後の地域生活を支える中核機関として、新たに基幹相談支援センターを設置し、相談支援体制を強化した。また、市の健康づくりキャラクターであるとりかめくん誕生10周年記念のイベント等を実施することで、市民の健康に対する意識を醸成するとともに、市民全体のウェルビーイングに寄与する事業を展開した。

安全安心なまちと未来を見据えた環境整備では、市内幹線道路であるふれあい道路の維持工事や、井野団地外周道路を始めとした市内6路線の道路改良事業を進めたほか、通学路交通安全対策プログラムに基づき、井野台一丁目、桑原、野々井において道路改良事業を推進し、危険路線の対策及び危険箇所の解消を図った。また、藤代庁舎照明LED化事業や、市内小中学生への環境教育プログラム、友好都市であるみなかみ町での森林整備活動と環境教育の実施等、地球温暖化対策事業を多角的に推進した。

持続可能な地域社会の構築では、災害等の非常事態における迅速な連絡体制を確保するため、非常時連絡用のタブレット端末を導入し、非常時の体制を強化した。また、デジタル化推進事業として、保育施設入所申請のオンライン化や、母子健康手帳アプリの導入により、市民サービスの更なる向上を図るとともに、RPA・AI-OCRを組み合わせたシステムの活用による業務効率化を推進した。

(決算額)

一般会計の歳入歳出決算額（繰越事業を含む）は、

歳入 487億8,504万7千円（令和5年度 477億6,103万1千円）

歳出 470億9,731万1千円（令和5年度 463億 276万円）

となり、令和5年度と比較して歳入で10億2,401万6千円（2.1%）の増、歳出で7億9,455万1千円（1.7%）の増となった。

(決算収支)

一般会計の歳入歳出差引額は、16億8,773万6千円で、このうち令和7年度へ繰り越すべき財源2億1,868万7千円（繰越明許費繰越額及び事故繰越し繰越額）を控除した実質収支額は、14億6,904万9千円となった。

(歳 入)

歳入の状況

令和6年度の一般会計歳入決算額は、487億8,504万7千円で令和5年度と比較すると10億2,401万6千円(2.1%)の増となった。

寄附金が4億789万7千円の増となっているが、主にふるさと取手応援基金寄附金4億2,779万7千円の増によるものである。

主な歳入の前年度との比較

(単位：千円)

	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率(%)
市税	14,070,207	14,089,652	△ 19,445	△ 0.1
地方譲与税	329,806	330,030	△ 224	△ 0.1
利子割交付金	5,980	4,443	1,537	34.6
配当割交付金	120,543	84,398	36,145	42.8
株式等譲渡所得割交付金	167,561	94,191	73,370	77.9
法人事業税交付金	206,835	203,031	3,804	1.9
地方消費税交付金	2,527,189	2,381,803	145,386	6.1
地方特例交付金	574,577	99,081	475,496	479.9
地方交付税	9,447,237	9,162,676	284,561	3.1
分担金・負担金	173,136	164,172	8,964	5.5
国庫支出金	8,682,657	8,437,820	244,837	2.9
県支出金	2,794,162	2,785,182	8,980	0.3
寄附金	1,947,001	1,539,104	407,897	26.5
繰入金	2,541,939	2,115,894	426,045	20.1
繰越金	1,458,271	1,704,808	△ 246,537	△ 14.5
諸収入	954,437	849,159	105,278	12.4
市債	2,171,540	3,218,036	△ 1,046,496	△ 32.5
その他	611,969	497,551	114,418	23.0
合 計	48,785,047	47,761,031	1,024,016	2.1

歳入一般財源

令和6年度の歳入一般財源(市税、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金)は、275億5,767万2千円で5年度の265億5,542万7千円と比較し、10億224万5千円(3.8%)の増となった。

歳入一般財源の歳入総額に占める割合は、56.5%で5年度の55.6%と比較すると0.9ポイントの増となった。

臨時財政対策債1億684万円を加えると276億6,451万2千円となり、5年度と比較し、8億7,354万9千円(3.3%)の増、歳入一般財源の歳入総額に占める割合は、56.7%となった。

増減内訳、増減率は、次表のとおりである。

歳入一般財源の決算額の比較

(単位：千円)

款 名	令和 6 年度	令和 5 年度	増減額	増減率 (%)
市税	14, 070, 207	14, 089, 652	△ 19, 445	△ 0. 1
地方譲与税	329, 806	330, 030	△ 224	△ 0. 1
利子割交付金	5, 980	4, 443	1, 537	34. 6
配当割交付金	120, 543	84, 398	36, 145	42. 8
株式等譲渡所得割交付金	167, 561	94, 191	73, 370	77. 9
法人事業税交付金	206, 835	203, 031	3, 804	1. 9
地方消費税交付金	2, 527, 189	2, 381, 803	145, 386	6. 1
ゴルフ場利用税交付金	58, 480	57, 994	486	0. 8
環境性能割交付金	38, 120	34, 823	3, 297	9. 5
地方特例交付金	574, 577	99, 081	475, 496	479. 9
地方交付税	9, 447, 237	9, 162, 676	284, 561	3. 1
交通安全対策特別交付金	11, 137	10, 986	151	1. 4
自動車取得税交付金	0	2, 319	△ 2, 319	△ 100. 0
小 計	27, 557, 672	26, 555, 427	1, 002, 245	3. 8
臨時財政対策債	106, 840	235, 536	△ 128, 696	△ 54. 6
合 計	27, 664, 512	26, 790, 963	873, 549	3. 3

(歳 出)

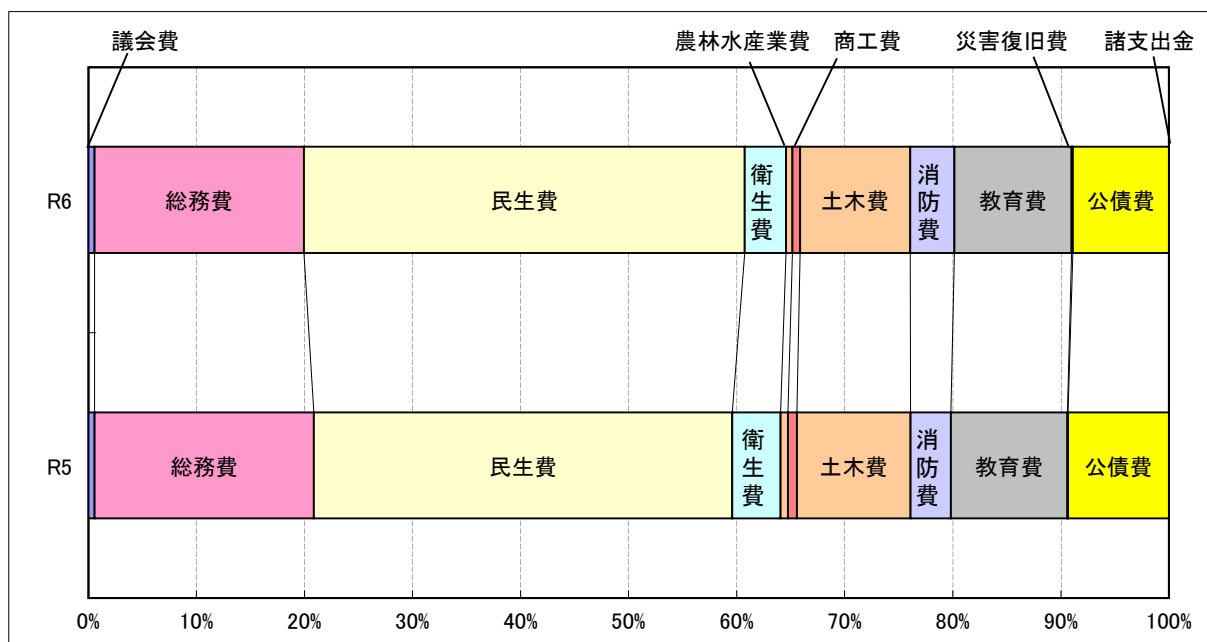
歳出の状況

令和 6 年度の一般会計歳出決算額は、4 7 0 億 9, 7 3 1 万 1 千円で 5 年度と比較すると 7 億 9, 4 5 5 万 1 千円 (1. 7 %) の増となった。

目的別歳出

(単位：千円)

款 名	令和 6 年度	構成比 (%)	令和 5 年度	増減額	増減率 (%)
議会費	267, 817	0. 6	263, 850	3, 967	1. 5
総務費	9, 128, 712	19. 4	9, 404, 305	△ 275, 593	△ 2. 9
民生費	19, 216, 405	40. 8	17, 918, 224	1, 298, 181	7. 2
衛生費	1, 794, 237	3. 8	2, 069, 906	△ 275, 669	△ 13. 3
農林水産業費	282, 823	0. 6	326, 860	△ 44, 037	△ 13. 5
商工費	327, 581	0. 7	373, 229	△ 45, 648	△ 12. 2
土木費	4, 797, 273	10. 2	4, 878, 273	△ 81, 000	△ 1. 7
消防費	1, 938, 986	4. 1	1, 722, 240	216, 746	12. 6
教育費	5, 099, 730	10. 8	5, 002, 389	97, 341	1. 9
災害復旧費	62, 796	0. 1	17, 908	44, 888	250. 7
公債費	4, 180, 144	8. 9	4, 324, 918	△ 144, 774	△ 3. 3
諸支出金	807	0. 0	658	149	22. 6
合 計	47, 097, 311	100. 0	46, 302, 760	794, 551	1. 7



特別会計

特別会計の歳入歳出決算額は、次の表のとおりとなった。

(単位：千円)

名 称	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
取手駅西口都市整備事業	1,429,072	1,410,129	18,943
国民健康保険事業	11,281,634	10,720,673	560,961
後期高齢者医療	3,912,971	3,887,939	25,032
介護保険	9,628,005	9,365,831	262,174
競輪事業	2,393,646	2,330,723	62,923
取手地方公平委員会	769	417	352
合 計	28,646,097	27,715,712	930,385